

柏市都市計画マスタープラン

地域別方針（素案）【市民委員意見版】

都市計画マスタープランは、これからの都市づくりの指針となるもので、目指す都市の将来像と目標、それらを実現するための取り組みなどについて定めていくものです。柏市都市計画マスタープランでは、全体的な方針とあわせ、地域ごとの特性を活かした地域別方針も定めていく予定です。

地域別方針（素案）【市民委員意見版】とは・・・

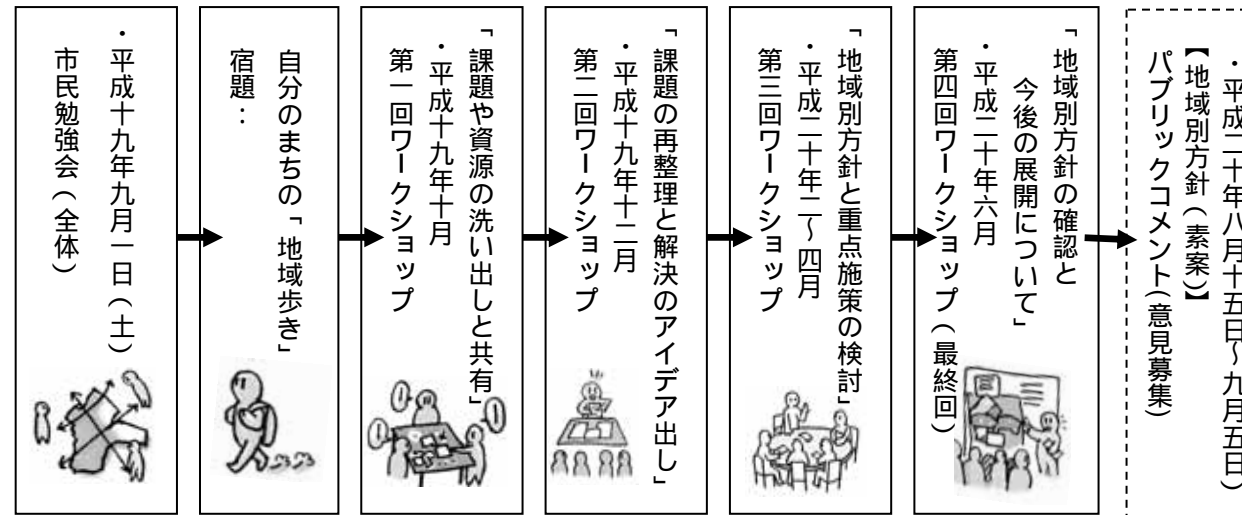
市民委員99名による市民ワークショップで出た意見やアイデアを大切にし、市民意見として取りまとめたものです。パブリックコメントにより広く市民意見を募集した後、市の施策や事業計画を加えて『地域別方針（案）』を取りまとめる予定です。

- P 1 . . . 地域別方針の考え方
- P 2 . . . 北部1地域（田中・西原）
- P 4 . . . 北部2地域（富勢・松葉）
- P 6 . . . 中央西地域（高田/松ヶ崎・豊四季台・旭町・新富）
- P 8 . . . 中央東地域（柏中央・新田原・永楽台・富里）
- P 1 0 . . . 南部1地域（増尾・光ヶ丘・酒井根）
- P 1 2 . . . 南部2地域（藤心・南部・風早南部）
- P 1 4 . . . 南部3地域（風早北部・手賀）

1. 地域別方針の考え方

(1) 地域別方針の作り方

地域別方針は、公募・推薦による99名の市民委員によって、地域の資源や課題を出し合い、具体的な施策のアイデア出しを行い、市民自らが取り組むべき施策の検討などを取りまとめたものです（以下のステップを参照）。都市計画の分野以外の記載もありますが、市民の声を反映していきたいと考え、地域のまちづくりに関連する分野をできるだけ記載しています。



ワークショップの流れ

(2) 地域別方針の活用方法

この地域別方針は、地域区分ごとの将来像、目標とそれに対応する施策を記載しています。また、空間的に表現すべき、将来の土地利用、主要な道路・公園、開発計画等を記載しています。

施策については、それぞれ主体となる当事者を記載しています。この地域別方針を活用して、市民と行政とが同じ都市像を共有することで、お互いの役割を果たしながら、より良いまちづくりを進めていくものです。

(3) 地域から全体への展開

地域別方針を検討する過程で出された、さまざまな市民の意見をベースに、柏の課題、現在取り組んでいる施策や将来の社会情勢等を考慮し、柏市全体の将来都市像、その実現化方針（分野別方針）を検討し、まちづくりの推進方針に展開します。

2. 地域区分の考え方

総合計画「第5部地域整備の方向」にあるゾーニング「北部」「中央」「南部」の区分の考え方と、市内20のコミュニティエリアにおける地域特性等から、地域別方針を作成するための地域区分を検討しました。

北部はつくばエクスプレス沿線の「北1」と常磐線北柏駅に近い「北2」の2地域、中央は鉄道駅で「東」「西」の2地域に、南部は常磐線南柏駅に近い「南1」、「南1」以外の東武線沿線の「南2」、沼南庁舎を中心とする「南3」の3地域に区分し、市域全体を右図に示す7地域に区分します。

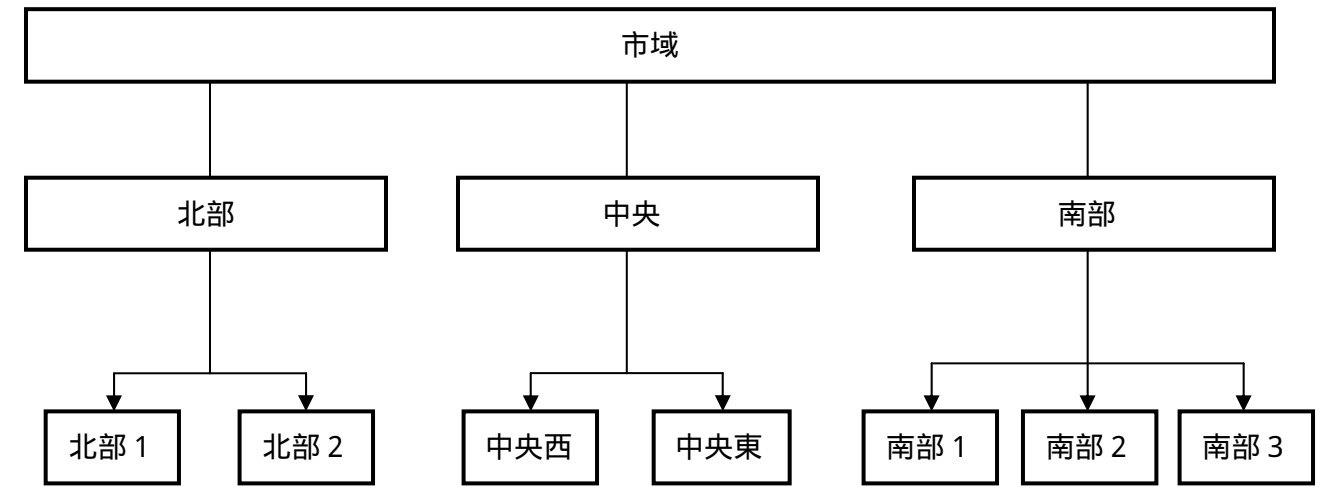
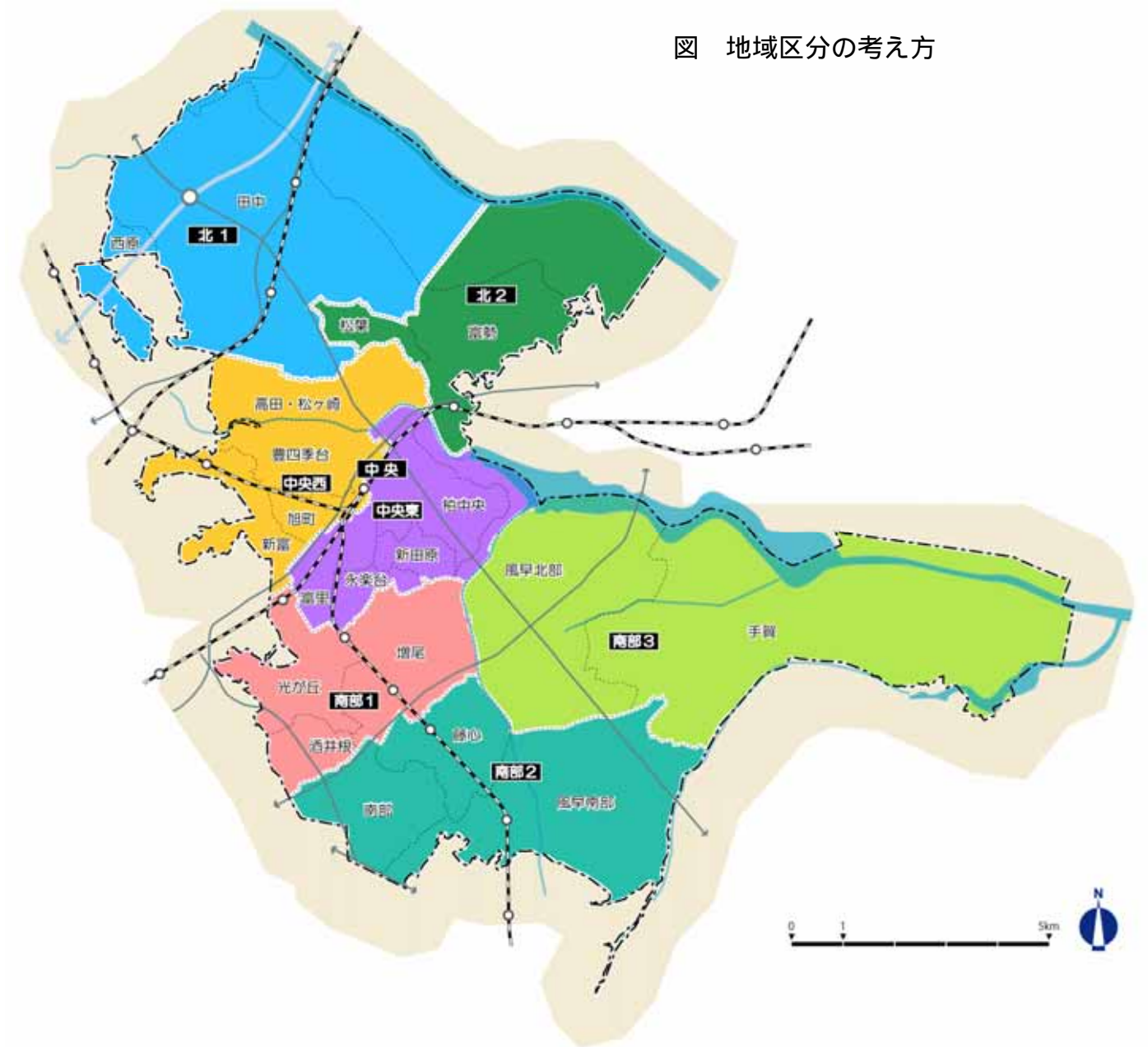


図 地域区分の考え方



地域別方針

北部1地域

田中・西原

コミュニティエリア

将来像

『水辺と田園風景を守りながら新たな文化を創造する柏の葉国際キャンパスタウン』

- ～ 守る - 水辺と田園風景。
- 創る - 健康で快適な生活。
- 繋がる - 気軽に動けるネットワーク（交通網）。

目標

1. 利根運河・利根川河川敷の整備、保全

方針1. 市民が関わる利根運河の活用

- 利根運河の美化活動を促進します
(水質改善やごみの撤去やボランティア団体づくりなど)
- 利根運河の利活用を促進します
(市民から管理者へ提案、具体的なアイデア等はNPOや市民からの公募等で検討)

方針2. 利根運河・利根川河川敷周辺の緑保全と整備、改善

- 市民が憩い楽しめる利根運河の環境整備を推進します
(水質浄化、公共サイン、桜並木、花畑、広場や公園等施設整備)
- 緊急時に利根運河・利根川を利用した物資輸送を検討します
- 利根運河・利根川河川敷に沿ったサイクリングロードの充実に努めます

2. 柏の葉公園・こんぶくろ池自然博物公園整備

方針3. 地域の自然環境と景観を支える空間の保全、管理の方法を探る

- 市民のコミュニティ空間としての利用、プランづくりを促進します
(市民による管理・活用検討)
- 夜間の安全性と管理体制のあり方を検討します(夜間の見回りなど)

3. 道路交通施策の推進

方針4. 骨格道路の整備推進

- 千葉柏道路の整備を推進します
- 土地区画整理事業等による骨格道路網の整備を推進します

方針5. 生活道路や通学路が安全に歩ける道づくり

- 生活道路の交通安全性の向上を図ります(歩行者空間や流入制限など)
- 事故危険交差点等の整備を推進します
- 上利根地区道路のスピードを抑制するための対策などを検討します

4. 誰もが移動しやすい公共交通システムの構築

方針6. コミュニティバス等の地域にあった公共交通の導入

- 地域にあった公共交通システムの導入を図ります
(シャトルバス、コミュニティバス、地域循環バス、流山方面へのアクセス等)
- バス路線空白地の解消を推進します
- 柏駅と柏の葉キャンパス駅を結ぶ公共交通の導入を検討します

5. つくばエクスプレス駅周辺等の都市基盤整備促進と環境維持活動

方針7. 都市基盤整備の促進(省CO2まちづくり等)

- 土地区画整理事業による柏の葉キャンパス駅及び柏たなか駅周辺の整備を推進します
- 都市基盤整備が進んでいない地区の生活道路の整備に努めます
- 市街地整備の進捗を考慮した防犯体制の強化を図ります(地域の見回りや取締り)
- 景観に配慮した街並み形成を推進します
(景観まちづくり条例の活用、花植え、たばこポイ捨ての対応等の美化活動等)
- 省CO2まちづくりのアクションエリアとして、積極的にCO2削減を図ります

方針8. 民産学公連携の良好な環境維持活動を推進する(エリアマネジメントの推進等)

- 市民・大学・事業者等が協働で良好な環境維持のための管理体制づくりを図ります
- 地域通貨や企業出資等を活用した持続的な都市基盤整備方法を検討します
(地域ファンドづくりやエリアマネジメント)

6. 歴史的資源の保全

方針9. 柏北部地域を特徴づける歴史・文化的資源を守り活かす

- 柏百景として特徴的な歴史・文化資源を選び、その普及活動を促進します
- 柏百景を結ぶネットワーク整備を図ります
(統一された公共サインや案内板の設置、
学校授業とのネットワーク、歩行者自転車空間のネットワーク)
- 景観資源の保全や美化活動など市民による多様な活動等の促進を図ります
- 残すべき集落のまちなみ保全を図ります

<凡例>

- 行政が主体となって整備を進めるもの
- 市民や事業者が主体となって整備を進めるもの
- 市民・事業者等・行政の協働により目標の実現に向けて課題を解決していくもの
- 実現には時間はかかるが、行政が主体となって目標の実現に向けて継続して進めていくもの
- 事業主体も決まらず、今後、実現に向けて計画するかどうか協議・調整・検討をようするもの

地域別方針図

北部1地域（田中・西原コミュニティエリア）

地域全体の目標

1. 利根運河・利根川河川敷の整備、保全
2. 柏の葉公園・こんぶくろ池自然博物公園整備
3. 道路交通施策の推進
4. 誰もが移動しやすい公共交通システムの構築
5. つくばエクスプレス駅周辺等の
都市基盤整備促進と環境維持活動
6. 歴史的資源の保全

■ 1. 利根運河・利根川河川敷の整備、保全

- 方針1. 市民が関わる利根運河の活用
- 方針2. 利根運河・利根川河川敷周辺の緑保全と整備、改善

■ 2. 柏の葉公園・こんぶくろ池自然博物公園整備

- 方針3. 地域の自然環境と景観を支える空間の保全、
管理の方法を探る

■ 3. 道路交通施策の推進

- 方針4. 骨格道路の整備推進
- 方針5. 生活道路や通学路が安全に歩ける道づくり

■ 4. 誰もが移動しやすい公共交通

システムの構築

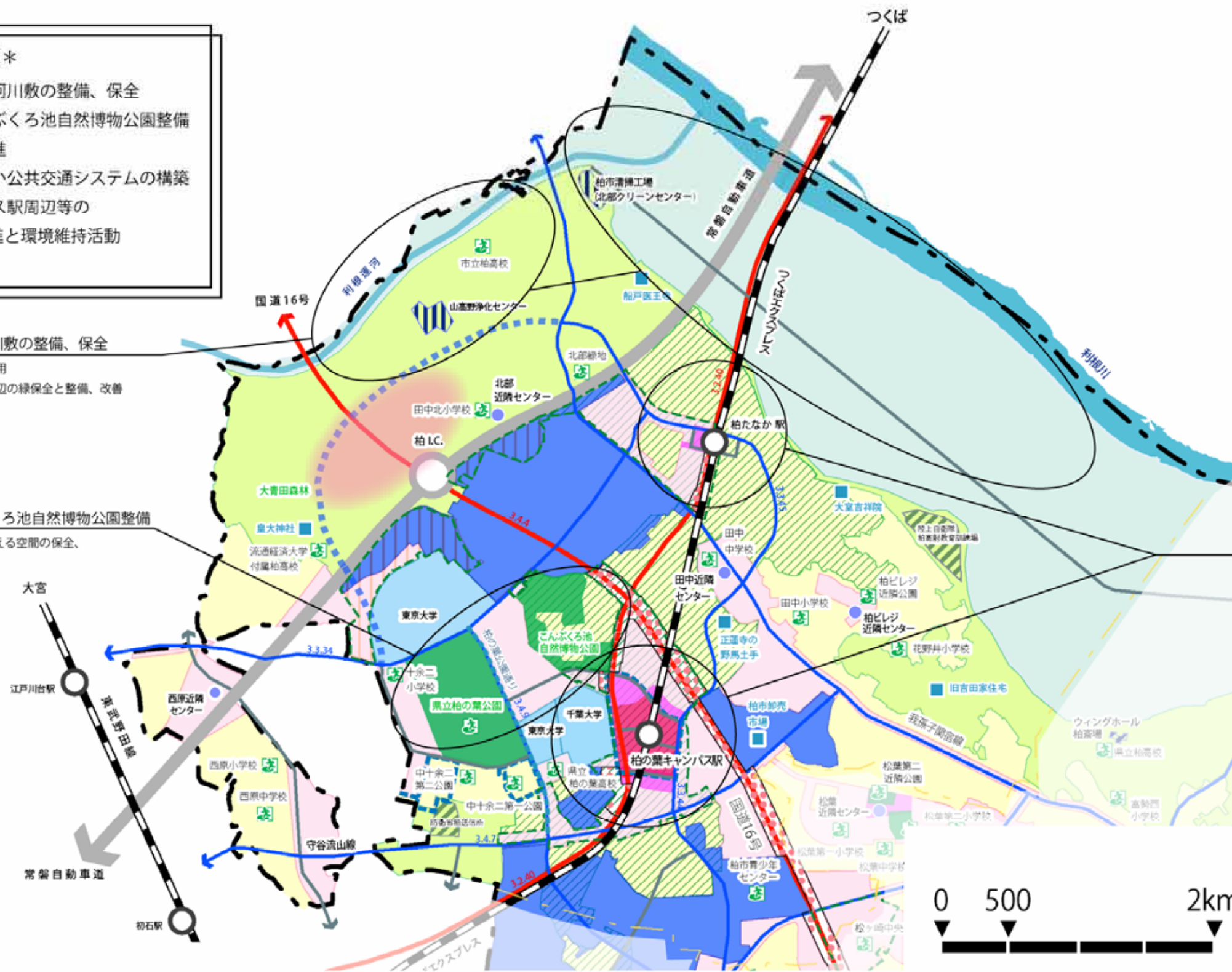
- 方針6. コミュニティバス等の地域にあった公共交通の導入

■ 5. つくばエクスプレス駅周辺等の
都市基盤整備促進と環境維持活動

- 方針7. 都市基盤整備の促進（省CO2まちづくり等）
- 方針8. 民産学連携の良好な環境維持活動を促進する
（エリアマネジメントの推進等）

■ 6. 歴史的資源の保全

- 方針9. 柏北部地域を特徴づける歴史・文化的資源を守り活かす



[凡例]

自然・田園系地域			住宅系地域		商業・沿道系地域			工業・学術系地域		景観・歴史的資源			新市街地系地域			その他		道路						
河川田園地域	田園集落地域	公園・都市緑地	戸建て・低層住宅地域	中高層住宅地域	中心商業地域	地区商業地域	沿道地域	工業地域	学術地域	地域資源	通り	市道愛称制定路線	北部総合整備地域	土地区画整理事業地区	地域振興地域	避難場所	地区計画	景観重点地区	地域区分	柏市域界	広域幹線道路	主要幹線道路	市内幹線道路	幹線道路(構想)

地域別方針

北部2地域

富勢・松葉

コミュニティエリア

将来像

『地域に残る歴史的資源とあけぼの山の緑から広がるまち』

～ 自然と歴史に囲まれてゆったり暮らせるまち ～

目標

1. 自然環境や農業環境などの維持と活用

方針1. あけぼの山公園・農業公園周辺環境の向上

- アクセス道路の整備を検討します
(バスルート・本数等の検討)
- 週末の交通ルールづくりや自転車利用を促進します
(市民から管理者へ提案、具体的なアイデア等はNPOや市民からの公募等で検討)
- 公園施設利用促進のためにイベント等の充実やPR活動を推進します
- 子供が安心して遊べる環境づくりを推進します
- 利根川河川敷の保全を促進します

方針2. 農業環境の維持・増進

- 都市農業と安全な食品づくりと結びつきのある地域づくりを検討します
(市民と農家、食品加工とが連携した地産地消のモデル地区を検討します)

2. 北柏駅を中心とした交通・都市基盤整備の推進

方針3. 北柏駅を中心とした交通ネットワークの強化

- バスサービス等公共交通の充実を推進します
- 生活道路のバリアフリー化を図ります(歩道の拡幅・補修、段差解消等)
- 布施地区の交通改善を検討します
(歩行空間の確保、車の流入抑制や速度抑制等)
- 自転車利用環境の向上のため駐輪場整備等を図ります

方針4. 北柏駅周辺の都市基盤整備の推進

- 駅周辺のにぎわいづくり、公共施設等の整備を図ります。
(広場や道の整備等)
- 周辺の住環境に配慮し、環境に調和した整備を図ります。
- 北柏駅北口都市区画整理事業を推進します

3. 地域の安心で良好な住環境の形成

方針5. 地域施設の適切な管理と誘導

- 公共施設の適切な配置に努めます(目的地までのアクセス向上)
- 街灯や歩道橋等の適切な管理を推進します
- 松葉町会の太陽光発電による街灯設置を促進します(市民参加・管理のPR)

方針6. 地域間の連携の向上

- 地域防災拠点の整備・防災体制の充実を図ります
- 不法投棄対策として地域循環隊による見回り強化を検討します

4. 歴史的資源の活用と発信

方針7. 地域による自然環境・景観の活用

- 地域の小中学校と連携し地域資源を活用した体験学習を検討します
- 地金堀の活用を検討します(堀の保全、花壇づくり、遊歩道設置等)
- 景観ウォッチャー制度の導入を促進します(市民ボランティアで広告物の見回り)

方針8. 歴史と文化を訪ねるネットワーク整備

- 文化財マップや道路愛称を活用し、地域ルートマップの作成を促進します
- 地域資源ツアー等のまち歩きイベント開催を促進します

<凡例>

- 行政が主体となって整備を進めるもの
- 市民や事業者が主体となって整備を進めるもの
- 市民・事業者等・行政の協働により目標の実現に向けて課題を解決していくもの
- 実現には時間がかかるが、行政が主体となって目標の実現に向けて継続して進めていくもの
- 事業主体も決まっておらず、今後、実現に向けて計画するかどうか協議・調整・検討をようするもの

地域別方針図

北部2地域（富勢・松葉コミュニティエリア）

地域全体の目標

1. 自然環境や農業環境などの維持と活用
2. 北柏駅を中心とした交通・都市基盤整備の推進
3. 地域の安心で良好な住環境の形成
4. 歴史的資源の活用と発信

■ 1. 自然環境や農業環境などの維持と活用

- 方針1. あけぼの山公園・農業公園周辺環境の向上
 方針2. 農業環境の維持・増進

■ 3. 地域の安心で良好な住環境の形成

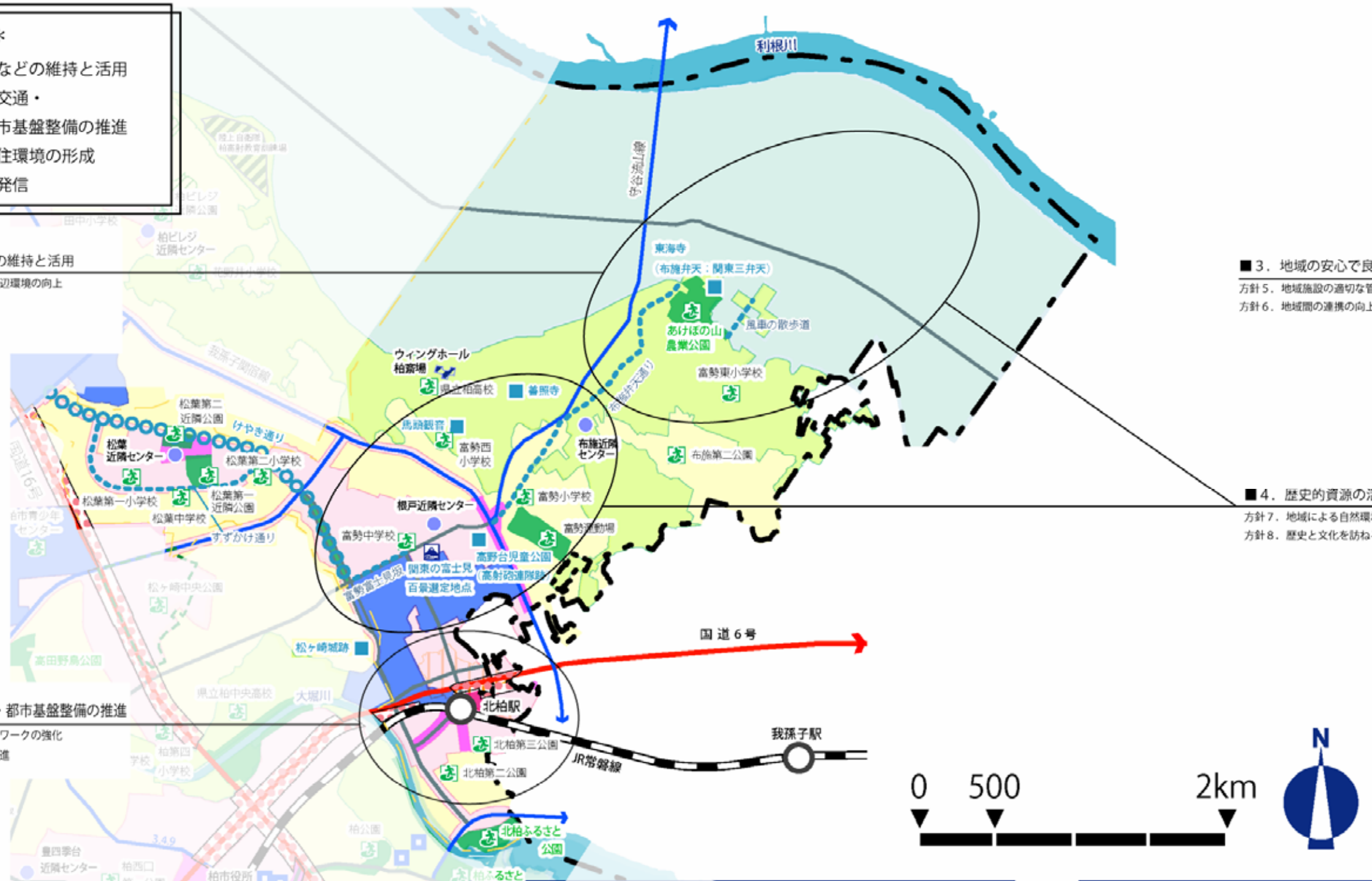
- 方針5. 地域施設の適切な管理と誘導
 方針6. 地域間の連携の向上

■ 2. 北柏駅を中心とした交通・都市基盤整備の推進

- 方針3. 北柏駅を中心とした交通ネットワークの強化
 方針4. 北柏駅周辺の都市基盤整備の推進

■ 4. 歴史的資源の活用と発信

- 方針7. 地域による自然環境・景観の活用
 方針8. 歴史と文化を訪ねるネットワーク整備



[凡例]

自然・田園系地域	住宅系地域	商業・沿道系地域	工業・学術系地域	景観・歴史的な地域資源	新市街地系地域	その他	道路
河川田園地域	田園集落地域	公園・都市緑地	戸建て・低層住宅地域	中高層住宅地域	中心商業地域	地区商業地域	沿道地域
工業地域	学術地域	地域資源	通り	市道愛称制定路線	北部総合整備地域	土地区画整理事業地区	地域振興地域
避難場所	地区計画	景観重点地区	地域区分	柏市域界	広域幹線道路	主要幹線道路	市内幹線道路
幹線道路(構想)							

中央西地域

高田/松ヶ崎・
豊四季台・
旭町・
新宮
コミュニティエリア

将来像

『市民連携により大堀川や野馬土手を活用した、やすらぎのあるまち』

～ 大堀川・野間土手の自然が感じられ、
活気と人・地域のつながりのあるまち ～

目標

1. 大堀川の整備と活用促進

方針1. 大堀川の環境整備（親水空間づくり）

- 大堀川リバーサイドパーク及び大堀川防災レクリエーション拠点整備事業を推進します
- ウォーキング、サイクリングルートの整備及びネットワーク化に努めます（近隣市の連携、ふるさと公園とのネットワーク化、橋の増設、並木づくり等）
- 夜間の防犯、安全対策を検討します
- 大堀川沿いの開発計画については適正な開発協議を推進します（景観保全や交通集中等の課題への対応）

方針2. 大堀川沿道空間の保全とネットワークづくりの創出を図る

- NPOやボランティア団体のネットワーク構築を促進します（維持管理促進、様々な活動の一体化、市民トラストの推進）
- 沿道緑地の保全活用や土手のクリーン活動を促進します（高田緑地など）

2. 野馬土手等自然資源の保全

方針3. 野馬土手の維持保全・活用の推進

- 南柏野馬土手エリア拠点整備事業を推進します
- 竹林、農家、集落等の保全体制強化を検討します（宅地開発計画との調整、景観上の保全策）
- 市民シビックトラスト（一坪地主）の取組みを検討します
- 用地買い取りによる保全を検討します
- 維持保全に係るボランティア団体のネットワーク構築を促進します

3. 道路、交通整備の効果的な方策検討

方針4. 交通ネットワークの形成

- 渋滞を緩和する都市計画道路の部分的整備を推進します（右折レーンや効果大箇所の優先整備等：稲荷神社前交差点、吉野沢高野台線等）
- 近隣市と一体となった道路整備に努めます（整備の時期や整備方針の整合）
- 生活道路の安全確保を検討します（通過交通抑制、歩行空間の確保等：かやの町等）
- ポケットパーク整備や地域のシンボル道路の整備を検討します（歩道の部分拡幅、街灯整備、沿道緑化等）

方針5. 安全に楽しく歩ける歩行者、自転車ルートづくり

- 地域単位のコミュニティマップ・安全マップ作成を検討します（問題認識の共有化）
- 歩行者空間の確保を検討します（側溝への蓋かけ等）
- 自転車利用促進による渋滞緩和を検討します（自転車道の整備、自転車利用の促進）

4. 中心部の都市拠点環境整備と防犯・防災対策の推進

方針6. 柏駅前快適な都市拠点環境整備の推進

- 市街地再開発事業を推進します（ヒューマンスケール*な街並みを大切にしながら）
- 店舗看板等を規制するガイドラインづくりを検討します
- 商店街の個性を活かしたまち並み整備を検討します
- 駅周辺商業地の交通環境の改善を推進します（車だけに頼らないアクセス方法、公共交通の機能強化、東西の回遊性強化等）

方針7. 防犯・防災対策の推進

- 木造密集市街地などの災害時における避難路の確保を図ります

5. 地域コミュニティ間の連携

方針8. 地域コミュニティネットワークの形成によるまちの活性化

- 市民と行政の連携によるまちづくりを促進します
- 地域資源の継続的な保全や維持管理活動を促進します
- 豊四季台団地の再生を図ります（省CO2まちづくり等）

*ヒューマンスケール・・・

人と空間との関係を、人間の身体や体の一部分の大きさを尺度にして考えること。

<凡例>

- 行政が主体となって整備を進めるもの
- 市民や事業者が主体となって整備を進めるもの
- 市民・事業者等・行政の協働により目標の実現に向けて課題を解決していくもの
- 実現には時間がかかるが、行政が主体となって目標の実現に向けて継続して進めていくもの
- 事業主体も決まらず、今後、実現に向けて計画するかどうか協議・調整・検討をようするもの

地域別方針図

中央西地域（高田 / 松ヶ崎・豊四季台・旭町・新富コミュニティエリア）

※地域全体の目標※

1. 大堀川の整備と活用促進
2. 野馬土手等自然資源の保全
3. 道路、交通整備の効果的な方策検討
4. 中心部の都市拠点環境整備と
防犯・防災対策の推進
5. 地域コミュニティ間の連携

■1. 大堀川の整備と活用促進

- 方針1. 大堀川の環境整備（親水空間づくり）
方針2. 大堀川沿道空間の保全とネットワークづくりの創出を図る

■2. 野馬土手等自然資源の保全

- 方針3. 野馬土手の維持保全・活用の推進

■3. 道路、交通整備の効果的な方策検討

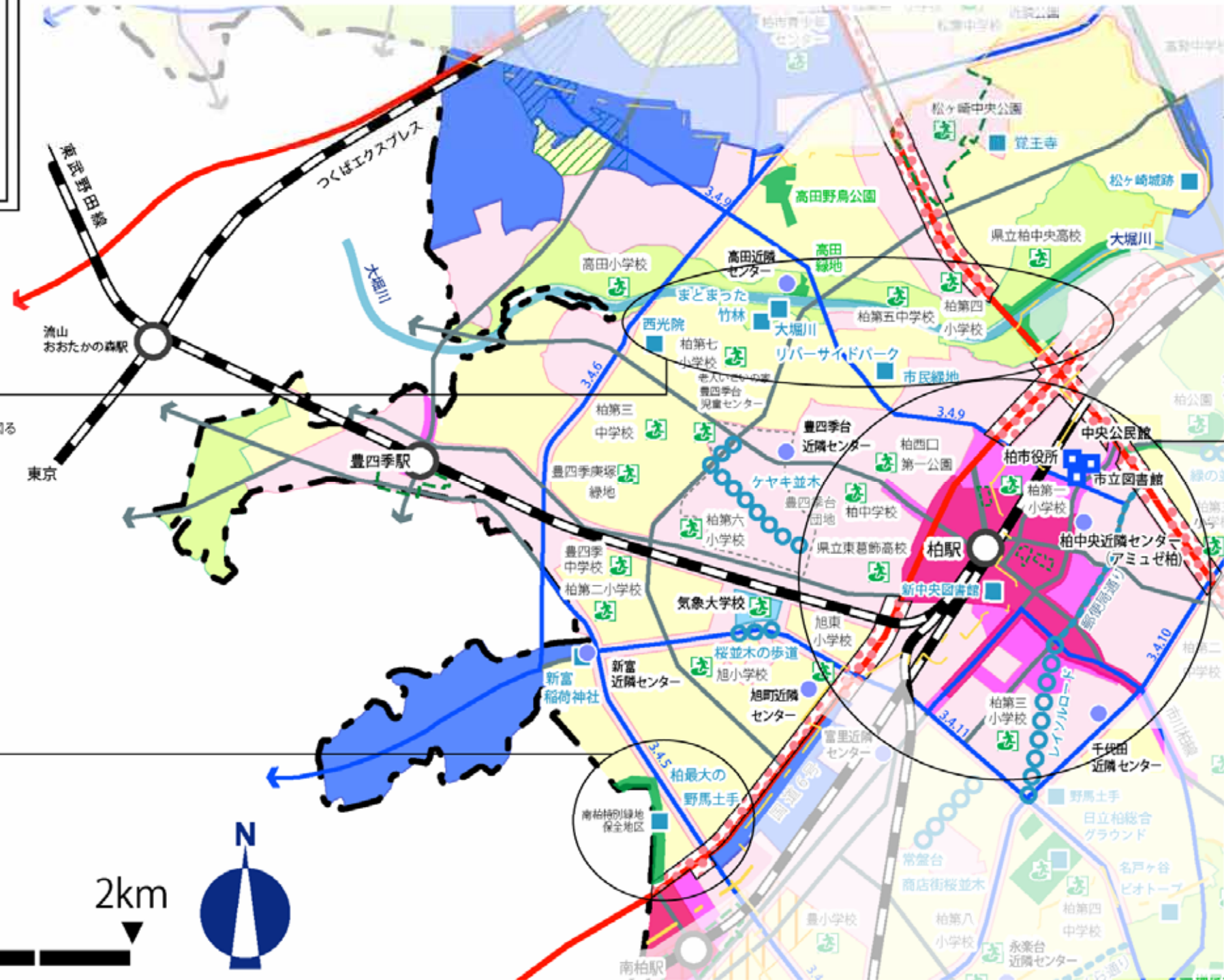
- 方針4. 交通ネットワークの形成
方針5. 安全に楽しく歩ける歩行者、自転車ルートづくり

■4. 中心部の都市拠点環境整備と
防犯・防災対策の推進

- 方針6. 柏駅前の快適な都市拠点環境整備の推進
方針7. 防犯・防災対策の推進

■5. 地域コミュニティ間の連携

- 方針8. 地域コミュニティネットワークの
形成によるまちの活性化



[凡例]

<p>自然・田園系地域</p> <ul style="list-style-type: none"> 河川田園地域 田園集落地域 公園・都市緑地 	<p>住宅系地域</p> <ul style="list-style-type: none"> 戸建て・低層住宅地域 中高層住宅地域 	<p>商業・沿道系地域</p> <ul style="list-style-type: none"> 中心商業地域 地区商業地域 沿道地域 	<p>工業・学術系地域</p> <ul style="list-style-type: none"> 工業地域 学術地域 	<p>景観・歴史的地域資源</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域資源 通り 市道受称制定路線 	<p>新市街地系地域</p> <ul style="list-style-type: none"> 北部総合整備地域 土地区画整理事業地区 地域振興地域 	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難場所 地区計画 景観重点地区 地域区分 柏市域界 	<p>道路</p> <ul style="list-style-type: none"> 広域幹線道路 主要幹線道路 市内幹線道路 幹線道路(構想)
---	--	--	--	--	---	---	--

中央東地域

柏中央・新田原
永楽台・富里
コミュニティエリア

将来像

『柏市の顔となる地域の個性を尊重し、美しい景観と賑わいを演出するライブタウン』

～ 柏レイソルを感じられ、
市の玄関口として活気と安全、安心のあるまち ～

目標

1. 緑のつながりと特徴のある公園緑地づくり

方針1. 公園空間全体のマスタープラン導入

- 公園緑地の性格づけとつながりづくりを推進します
- 子供の利用しやすい公園づくりを図ります
- 日立柏サッカー場と公園が一体となった自由に楽しめる空間づくりを検討します
- 緑地保全のための基金設立を検討します
(中原ふれあい防災公園のように緑基金の創出)

方針2. 大津川や手賀沼の水辺を水と緑の回廊として活用

- 沼南地域から大堀川までの他地域とのネットワーク化に努めます
- 憩いの場の充実を図ります(遊歩道、サイン、休憩施設などの整備)

2. 中心市街地の活性化と地域間の協働促進

方針3. 柏駅周辺の整備推進

- 市民の意見も踏まえながら柏駅東口ダブルデッキの整備を推進します
- 市街地再開発事業を推進します(ヒューマンスケールな街並みを大切にしながら)
- 総合的な交通政策を推進します
(一般車の流入規制、休日の交通規制方針、駅前広場の利便性向上、駐車場整備)
歩行者の回遊性を確保するための道路整備などを推進します。
(コミュニティ道路、サイン、憩いの空間整備等)

方針4. 地域商店街活性化のためのエリアマネジメント

- まとまった地域整備を行なう際には、市民参加により地域像のあり方を検討します
- 地域活性化のために資金や活動を提供する仕組みづくりを検討します
(エリアマネジメント導入)
- 地域が主体となり地域通貨導入や商店街の優良ポイントカード発行等を検討します

3. 人が中心の道路・交通整備推進

方針5. 交通安全対策とつながりのある交通ネットワークの形成

- 柏公園と公共施設、柏ふるさと公園を緑でつなげる道づくりを推進します
- 景観に配慮し施設配置の工夫によるつながりの演出を推進します
(緑の並木、サイン計画、休憩施設の設置等)
- 歩行者に優しい道路整備を検討します(歩道幅員の改善、一方通行化による歩行空間の確保等)
- 自転車の安全なネットワーク形成を推進します
- 渋滞を緩和する都市計画道路の部分的整備を推進します(右折レーンや通学路等の優先整備)

- 交差点処理の工夫を検討します(ロータリー式交差点、歩車分離信号など制御の工夫等)
- 生活道路の安全性向上を検討します(車の通り抜け対策に住民通行証発行等)
- 生活道路の整備、改善のための市民検討委員会発足を検討します

方針6. 積極的な自転車利用に向けた駐輪対策の実施

- 巡回による放置自転車等の削減を推進します
- コイン式駐輪場の充実を検討します

4. 安全・安心のための対策と情報の周知

方針7. 地域の住環境管理による防犯・防災対策の推進

- 公園等の夜間照明の適正な設置や増設を検討します
- 公園、緑地、住宅等適切な緑の剪定、維持管理を推進します
- 防災マップを活用した避難場所の確認を促進します
- 防災マップの配布、公共サインによる避難場所の情報提供を推進します

方針8. 快適な市街地環境づくり

- ミニ戸建を抑制するための地区計画や建築協定導入を検討します
- 雨水浸透マス設置による地下水涵養を促進します
- 既存の緑や地域景観の維持保全を推進します(景観まちづくり条例の活用等)

5. 既存施設を活かしたコミュニティ空間づくり

方針9. 公共施設の有効利用と地域コミュニティ活動の拠点整備

- 新中央図書館の整備を推進します(複合的施設として使いやすい施設づくり)
- 市民文化会館の改修を検討します
- 公開空地の有効活用を検討します

6. 柏レイソルを核にしたまちづくり

方針10. 柏レイソルを核にした地域活性化の推進

- レイソルロード(三小通り商店街)等の特徴づくりのための施策を検討します
- 試合開催と連動したキャンペーンやイベントの開催を促進します(フリーマーケット、歩行者天国等)
- レイソルを活かしたまちづくりに関わる検討の場の立ち上げを検討します
(市、民間企業、地元住民による検討会)

方針11. 日立柏総合グランド周辺の交通基盤整備

- 試合開催時の交通規制を検討します(一方通行化、コミュニティ道路検討)
- 検討課題(都市マスでは位置づけないが、地域内の課題事項とする)
常盤台商店街付近への新駅の誘致と周辺整備

<凡例>

- 行政が主体となって整備を進めるもの
- 市民や事業者が主体となって整備を進めるもの
- 市民・事業者等・行政の協働により目標の実現に向けて課題を解決していくもの
- 実現には時間はかかるが、行政が主体となって目標の実現に向けて継続して進めていくもの
- 事業主体も決まらず、今後、実現に向けて計画するかどうか協議・調整・検討をようするもの

地域別方針図

中央東地域（柏中央・新田原・永楽台・富里コミュニティエリア）

＊地域全体の目標＊

1. 緑のつながりと特徴のある公園緑地づくり
2. 中心市街地の活性化と地域間の協働促進
3. 人が中心の道路・交通整備推進
4. 安全・安心のための対策と情報の周知
5. 既存施設を活かしたコミュニティ空間づくり
6. 柏レイソルを核にしたまちづくり

■ 1. 緑のつながりと特徴のある公園緑地づくり

- 方針1. 公園空間全体のマスタープラン導入
- 方針2. 大津川や手賀沼の水辺を水と緑の回廊として活用

■ 4. 安全・安心のための対策と情報の周知

- 方針7. 地域の住環境管理による防犯・防災対策の推進
- 方針8. 快適な市街地環境づくり

■ 5. 既存施設を活かしたコミュニティ空間づくり

- 方針9. 公共施設の有効利用と地域コミュニティ活動の拠点整備

■ 6. 柏レイソルを核にしたまちづくり

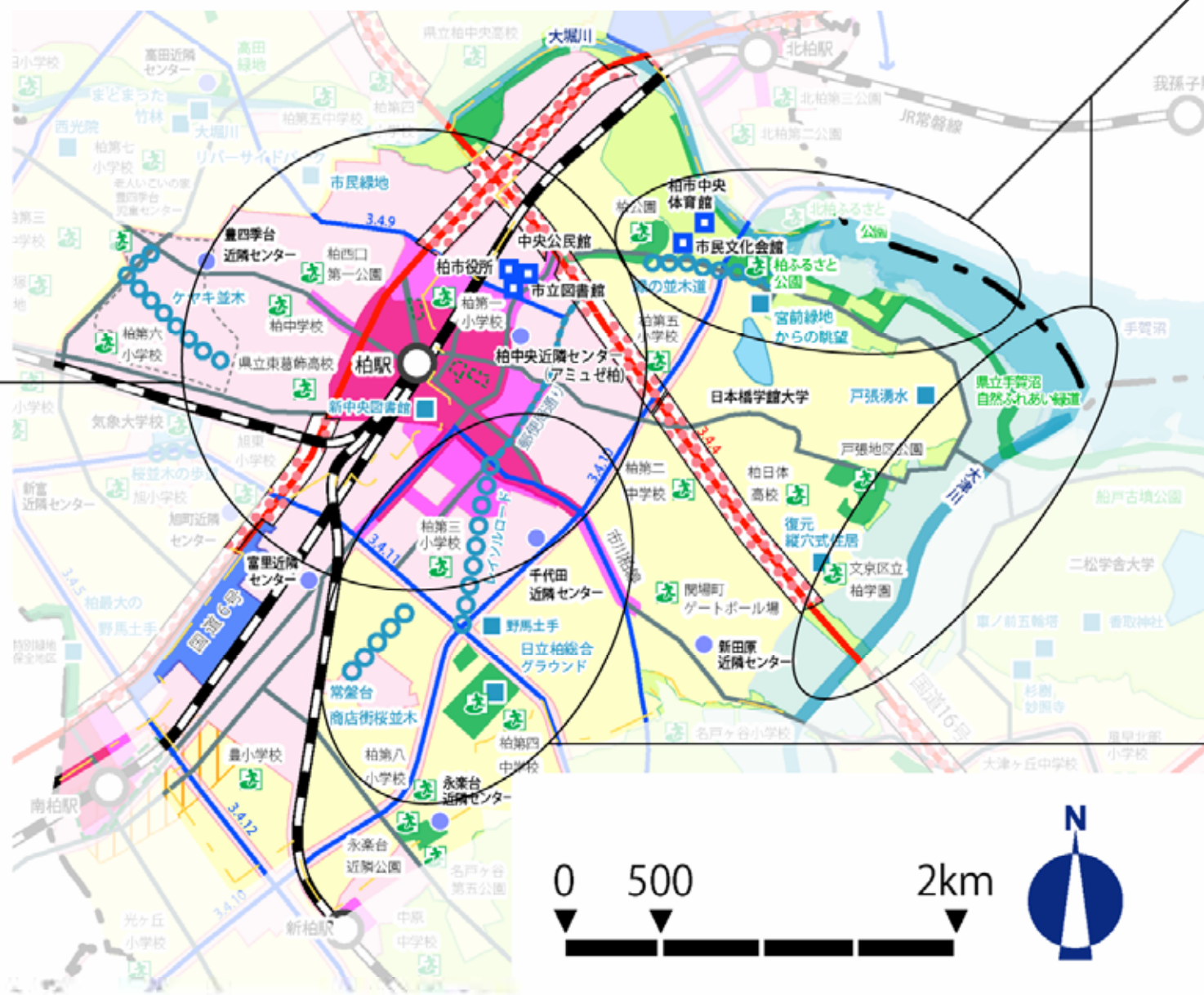
- 方針10. 柏レイソルを核にした地域活性化の推進
- 方針11. 日立柏総合グラウンド周辺の交通基盤整備

■ 2. 中心市街地の活性化と地域間の協働促進

- 方針3. 柏駅周辺の整備推進
- 方針4. 地域商店街活性化のためのエリアマネジメント

■ 3. 人が中心の道路・交通整備推進

- 方針5. 交通安全対策とつながりのある交通ネットワークの形成
- 方針6. 積極的な自転車利用に向けた駐輪対策の実施



[凡例]

自然・田園系地域	住宅系地域	商業・沿道系地域	工業・学術系地域	景観・歴史的地域資源	新市街地系地域	その他	道路
河川田園地域 田園集落地域 公園・都市緑地	戸建て・低層住宅地域 中高層住宅地域	中心商業地域 地区商業地域 沿道地域	工業地域 学術地域	地域資源 通り 市道受許制定路線	北部総合整備地域 土地区画整理事業地区 地域振興地域	避難場所 地区計画 景観重点地区 地域区分 柏市境界	広域幹線道路 主要幹線道路 市内幹線道路 幹線道路(構想)

南部1地域
増尾・光ヶ丘
酒井根
コミュニティエリア

将来像
『様々な都市機能が調和した市街地環境の形成と緑ある生活が営めるまち』

～ すべての世代が支えあい、
安全で安心な住み心地良い、緑あふれるまち ～

目標

1. 豊かな自然環境の保全・活用・波及

- 方針1. 地域の自然環境の質を高める
 - 地域の緑の拠点整備・保全を推進します
 - 市民と行政との協働による公園・緑地の維持管理を検討します（アダプト制度）
- 方針2. 緑地の維持・保全活動のためのシステムづくり
 - 緑の維持・活動のためシビックトラスト等を検討します
 - 地域資源を活かした活動や水と緑のネットワークの形成を検討します
 - 酒井根下田の森、里山等のPR活動を促進する（維持管理活動の活性化）

2. 鉄道駅を中心とした交通・都市基盤整備の推進

- 方針3. 人にやさしい交通環境整備の推進
 - 骨格道路の整備や個別渋滞交差点の解消等に努めます
 - 生活道路の安全性確保に努めます
 - 自転車道及び歩道整備による人にやさしい交通ネットワークを検討します
- 方針4. 公共交通機関等の利便性向上を図る
 - 鉄道駅前広場の利便性を高め、駅までのアクセス向上を図ります（増尾駅東口）
 - 地域の移動手段として自転車利用を促進します
- 方針5. 地域住環境の向上を図る
 - 南柏駅東口土地区画整理事業の推進を検討します
 - ごみ等の不法投棄対策、空き地や道路の適正な管理方法を検討します
 - 浸水地域における排水対策のため下水道整備を推進します
 - 地区計画等による街なみ保全を図ります

3. 商業と福祉サービスの拠点整備

- 方針6. 市民生活と強く結びついた地域商店街の活性化
 - 地元商店街の利用促進を検討します
 - 出店への初期資金サポート体制づくりを検討します
 - 駐輪場、駐車場の確保や適正規模を検討します
 - 地域交流の拠点として商店街空き店舗の利用を検討します

4. 地域防災拠点の促進

- 方針7. 安全に配慮したまちをつくる
 - 市民・行政との協働による防犯対策を検討します
 - 防災マップを活用し、ワークショップ形式で小学生等と交流を検討します
 - 地域パトロール隊の結成を図ります
 - 一世帯一灯運動実施による防犯対策の取り組みを図ります
 - 空き店舗の有効活用による防犯対策を検討します
- 方針8. 施設を利用した地域防災への取り組み
 - 中原ふれあい防災公園を利用した防災支援活動を促進します

5. 生涯学習を通じた交流の場づくり

- 方針9. 地域の文化、交流拠点の利用促進を図る
 - 大学の市民向け講座の利用を促進します
 - 大学のイベント運営等に市民参加による地域活性化を促進します

<凡例>

- 行政が主体となって整備を進めるもの
- 市民や事業者が主体となって整備を進めるもの
- 市民・事業者等・行政の協働により目標の実現に向けて課題を解決していくもの
- 実現には時間はかかるが、行政が主体となって目標の実現に向けて継続して進めていくもの
- 事業主体も決まっておらず、今後、実現に向けて計画するかどうか協議・調整・検討をようするもの

地域別方針

南部2地域
藤心・南部
風早南部
コミュニティエリア

将来像

『交通環境を整え自然と住宅地が共生したまち並みづくりを目指す』

～ 交通環境を整備し、自然と住宅地が共生した
次世代につながる心豊かなまち ～

目標

1. カタクリ群生地・里山等の管理、保全

方針1. 地域を特徴づける自然環境の保全と活用

- 里山や雑木林等の管理、保全に関する制度づくりを図ります
- 地域住民による管理運営を促進します
(下草の手入れやゴミ投棄防止のボランティア活用(組織づくり))
- 既存モデル活動を参考にした新たな取組みを検討します
(酒井根下田の森のシビックトラストなど)

方針2. 身近な公園や緑地の整備や管理の充実

- 公園照明増設による安全対策の充実を検討します
- 市民と行政の協働による新規公園整備を検討します
- 地域の身近な緑化を図ります

2. 利便性の高い交通網の整備

方針3. 利便性の高い交通軸の整備

- しいの木台地区と逆井地区をつなぐ骨格道路の整備を検討します
- 公共交通の利用促進のためバスルートの整備・充実を推進します
(バス空白地の改善、バス路線の強化、アクセス向上等)
- 民間企業バスの活用やジャンボタクシー増便により公共施設等へのアクセス向上を検討します

3. 東武野田線駅周辺の整備

方針4. 駅周辺の整備を推進し、住環境の向上や地域を活性化させる

- 駅周辺を特徴ある空間とする整備方法を検討します
- 駅前周辺地域のミニ開発を抑制する施策を検討します
(地区計画、建築協定等のルールづくり)
- 高柳駅周辺の都市基盤整備を推進します(バリアフリー化、駅前広場の整備等)
- 組合施行の高柳西側特定土地区画整理事業を推進します
- 高柳駅周辺の整備計画推進と有効利用するための市民活動団体づくりを検討します

4. 安全・安心のコミュニティ空間づくり

方針5. 防犯まちづくりの推進

- 警察OBによる駐在や地域住民のコミュニケーションによる防犯対策を検討します
- 地域住民による防犯パトロールの充実を検討します
(エリアマネジメントや防犯モデル地区の検討)
- 街路灯や防犯灯などの充実を検討します

方針6. 市民が連携できる地域拠点の設置

- 防災広場の新設、運営補助を検討します
- 学校図書室、集会所、近隣センター等の柔軟な利用を検討します

方針7. 防災まちづくりの推進

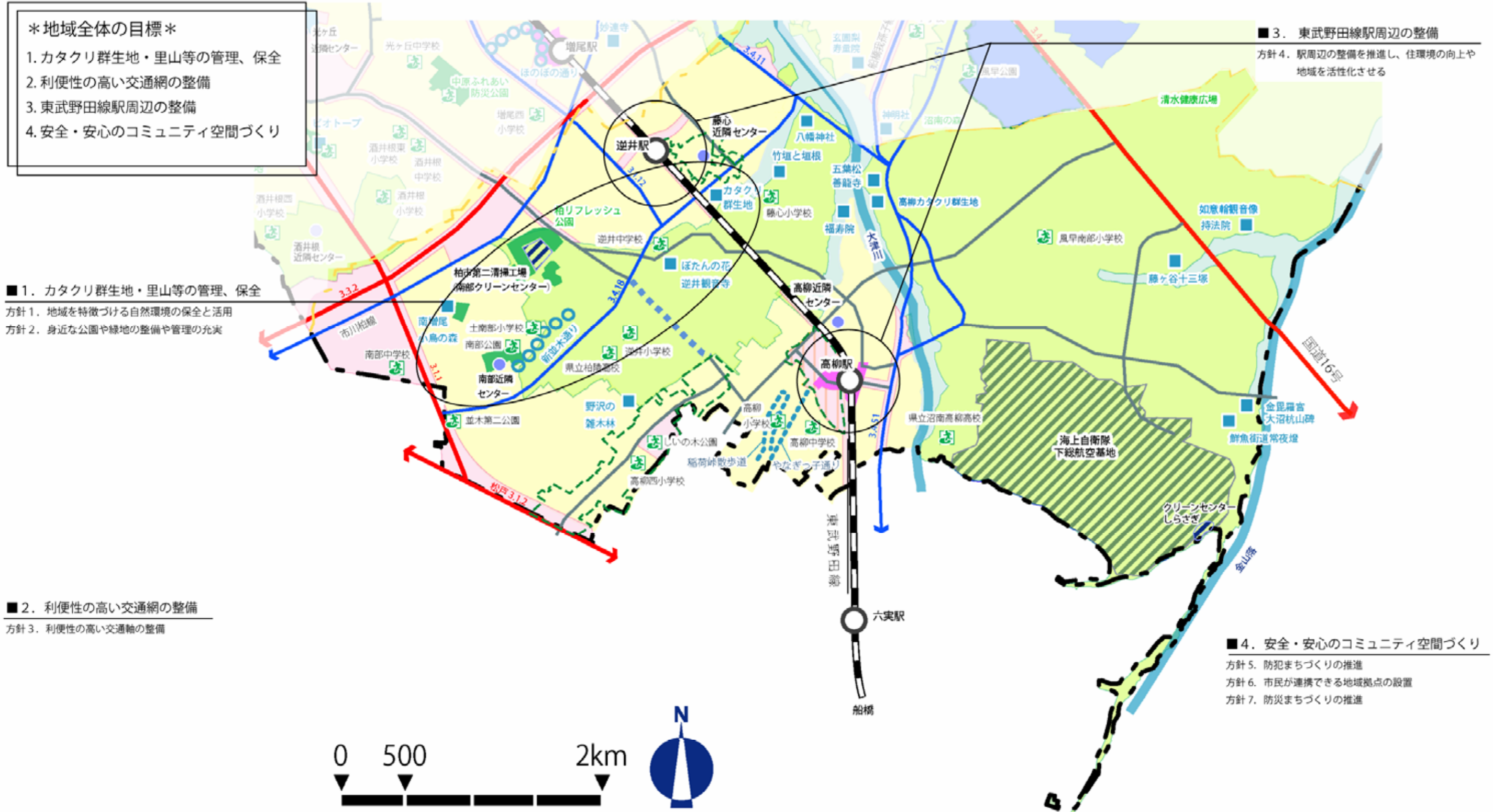
- 狭小道路の改善等を検討し防災対策に努めます
- 下水道整備による浸水地域の解消を推進します

<凡例>

- 行政が主体となって整備を進めるもの
- 市民や事業者が主体となって整備を進めるもの
- 市民・事業者等・行政の協働により目標の実現に向けて課題を解決していくもの
- 実現には時間がかかるが、行政が主体となって目標の実現に向けて継続して進めていくもの
- 事業主体も決まらず、今後、実現に向けて計画するかどうか協議・調整・検討をようするもの

地域別方針図

南部2地域（藤心・南部・風早南部コミュニティエリア）



地域全体の目標
 1. カタクリ群生地・里山等の管理、保全
 2. 利便性の高い交通網の整備
 3. 東武野田線駅周辺の整備
 4. 安全・安心のコミュニティ空間づくり

■ 1. カタクリ群生地・里山等の管理、保全
 方針1. 地域を特徴づける自然環境の保全と活用
 方針2. 身近な公園や緑地の整備や管理の充実

■ 2. 利便性の高い交通網の整備
 方針3. 利便性の高い交通軸の整備

■ 3. 東武野田線駅周辺の整備
 方針4. 駅周辺の整備を推進し、住環境の向上や地域を活性化させる

■ 4. 安全・安心のコミュニティ空間づくり
 方針5. 防犯まちづくりの推進
 方針6. 市民が連携できる地域拠点の設置
 方針7. 防災まちづくりの推進

[凡例]

自然・田園系地域	住宅系地域	商業・沿道系地域	工業・学術系地域	景観・歴史的な地域資源	新市街系地域	その他	道路
河川田園地域 田園集落地域 公園・都市緑地	戸建て・低層住宅地域 中高層住宅地域	中心商業地域 地区商業地域 沿道地域	工業地域 学術地域	地域資源 通り 市道愛称制定路線	北部総合整備地域 土地区画整理事業地区 地域振興地域	避難場所 地区計画 景観重点地区 地域区分 柏市域界	広域幹線道路 主要幹線道路 市内幹線道路 幹線道路(構想)

地域別方針

南部3地域

風早北部・手賀

コミュニティエリア

将来像

『良好な住環境を整備し水と緑に囲まれた自然環境を体感できる交流のまち』

～ 動と静のネットワークによるまちづくり ～

「動」= 都市基盤づくり

「静」= 仕組みづくり

「ネットワーク」= 都市基盤と仕組みをつなぐこと

目標

1. 自然・歴史・農地など地域資源の有効活用

方針1. 豊かな自然環境を市民観光客に広める計画づくり

- ウォーキングマップづくりを促進します（名所巡りなど）
- 名所めぐりポイント制度の創設を検討します
（公共施設や商店街に利用できるポイントとし、利用性を高める）
- 案内看板等の設置や適切な維持管理を推進します
（手賀沼、手賀沼遊歩道、手賀教会堂等の主要地の案内）

方針2. 水辺環境を活かした地域らしさの感じられる空間づくり

- 手賀沼の有効な利用方法を検討します（観光、レクリエーション、防災）
- 総合的な緑地・資源計画の作成を検討します
（豊かな緑や資源を維持活用していくための地域独自のプランづくり）
- 風早の風の道づくりを検討します（強い風を利用し、風力発電等によるエコロード）

方針3. 大学の活力と地域の連携による農地の活用

- 大学と農家、地域住民が連携したイベントづくりにより地産地消を促進します
（食育などをテーマに）
- 休耕農地の市民農園を検討します（オーナー制度等）
- 農業体験等の学習プログラム、農家アドバイザー制度等を検討します

2. 生活交通環境の向上・利便性の強化

方針4. バス交通の充実

- バスの柔軟な利用の導入を検討します
（民間企業のマイクロバス・学校の送迎バス等の協力や支援）

方針5. 生活道路と周辺地域の道路ネットワークの充実

- 道路や歩道の未舗装部分の整備を推進します
- 手賀沼沿いの道路の交通安全対策や災害時の活用対応を検討します
- 骨格となる都市計画道路の整備を推進します

3. 商店街等の活性化

方針6. 地域商業活性化に向けた取組み推進

- 地域密着型の店舗づくりを検討します（地域商店街の活性化、日常生活の利便性確保）
- 地域拠点への大型ショッピングなど賑わい施設の誘致を検討します

4. 低未利用地の活用・住宅計画の再整備

方針7. 市民が憩える利用しやすい空間づくり

- 大津ヶ丘団地の再生計画を検討します（住戸数、間取り等の再検討等）
- 地域の核づくりを促進します（コミュニティ、商店の活性化）
- 優良田園住宅（家庭菜園付住宅）の整備を図ります

5. 地域SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）*の構築

方針8. インターネットを利用した地域ネットワークづくり

- インターネットを利用したコミュニティ場づくりを検討します
- 地域活動の活性化を促進します（インターネット上での地域情報の共有化等）
- 沼南公民館等、地域拠点施設のPR強化を図ります（市HP等）

*SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）・・・

友達や同じ趣味の人などとメッセージを送り合ったり、日記を書いて見せたりできるコミュニティ型のインターネットサービス。

<凡例>

行政が主体となって整備を進めるもの

市民や事業者が主体となって整備を進めるもの

市民・事業者等・行政の協働により目標の実現に向けて課題を解決していくもの

実現には時間がかかるが、行政が主体となって目標の実現に向けて継続して進めていくもの

事業主体も決まらず、今後、実現に向けて計画するかどうか協議・調整・検討をようするもの

地域別方針図

南部3地域（風早北部・手賀コミュニティエリア）

＊地域全体の目標＊

1. 自然・歴史・農地など地域資源の有効活用
2. 生活交通環境の向上・利便性の強化
3. 商店街等の活性化
4. 低未利用地の活用・住宅計画の再整備
5. 地域SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)の構築

■ 1. 自然・歴史・農地など地域資源の有効活用

- 方針1. 豊かな自然環境を市民観光客に広める計画づくり
- 方針2. 水辺環境を活かした地域らしさの感じられる空間づくり
- 方針3. 大学の活力と地域の連携による農地の活用

■ 2. 生活交通環境の向上・利便性の強化

- 方針4. バス交通の充実
- 方針5. 生活道路と周辺地域の道路ネットワークの充実

■ 3. 商店街等の活性化

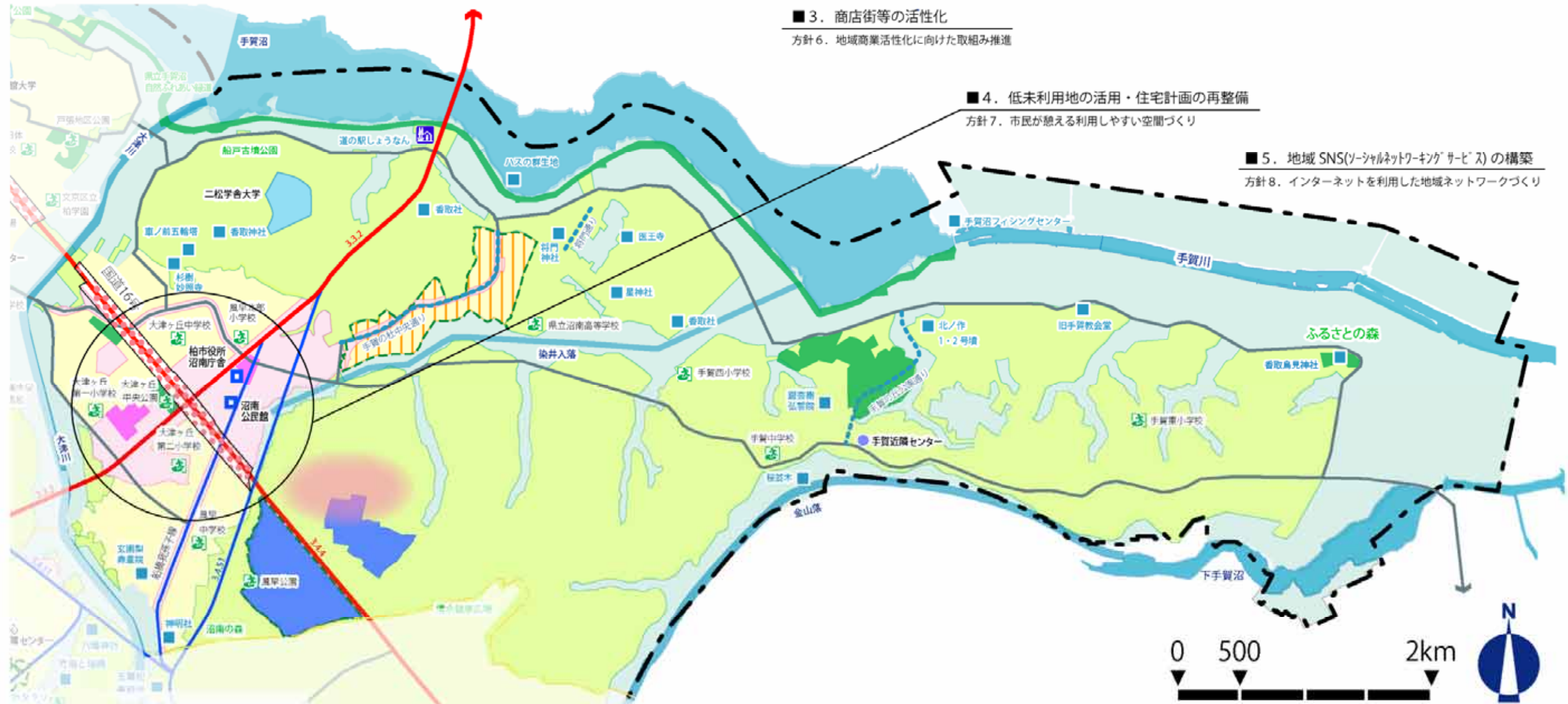
- 方針6. 地域商業活性化に向けた取組み推進

■ 4. 低未利用地の活用・住宅計画の再整備

- 方針7. 市民が憩える利用しやすい空間づくり

■ 5. 地域SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)の構築

- 方針8. インターネットを利用した地域ネットワークづくり



[凡例]

自然・田園系地域	住宅系地域	商業・沿道系地域	工業・学術系地域	景観・歴史的地域資源	新市街地系地域	その他	道路
<ul style="list-style-type: none"> 河川田園地域 田園集落地域 公園・都市緑地 	<ul style="list-style-type: none"> 戸建て・低層住宅地域 中高層住宅地域 	<ul style="list-style-type: none"> 中心商業地域 地区商業地域 沿道地域 	<ul style="list-style-type: none"> 工業地域 学術地域 	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源 通り 市道愛称制定路線 	<ul style="list-style-type: none"> 北部総合整備地域 土地区画整理事業地区 地域振興地域 	<ul style="list-style-type: none"> 避難場所 地区計画 景観重点地区 地域区分 柏市域界 	<ul style="list-style-type: none"> 広域幹線道路 主要幹線道路 市内幹線道路 幹線道路(構想)